治療計画書

療法名　ダラキューロ＋Kd療法　7サイクル目以降　療法　1サイクル　4　週

疾患名　再発又は難治性の多発性骨髄腫

注射 / 内服 / 放射線	Rp	商品名 / 照射部位	用量(/回) / 用量(/日) / 照射量	投与ルート / 用法	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
						1							2							3							4						
注射	1	5%糖液	250 ml	点滴	キープ	●	●						●	●						●	●												
注射	2	ダラキューロ	1800 mg	皮下注		●																											
注射	3	5%糖液	50 ml	点滴(側管)	キープ	●	●						●	●						●	●												
注射	4	カイプロリス 注射用水 5%糖液	56 mg/㎡ 2mg/mlで溶解 100 ml ※最大123mg	点滴(側管)	30分間	●	●						●	●						●	●												
注射	5	5%糖液	50 ml	点滴(側管)	ルートフラッシュ	●	●						●	●						●	●												
注射	6																																
注射	7																																
注射	8																																
注射	9																																
内服	1	レナデックス	20 mg	ダラキューロ投与1時間前		●																											
内服	2	レナデックス	20 mg	1日1回朝食後			●						●	●						●	●												
内服	3	レナデックス	40 mg	1日1回朝食後																							●						
内服	4	d-クロルフェニラミンマレイン酸塩	2 mg	ダラキューロ投与1時間前		●																											
内服	5	カロナール	1000 mg	ダラキューロ投与1時間前		●																											
内服	6																																
内服	7																																
放射線			Gy																														

特記事項

・Grade3のインフュージョンリアクションが3回出現した場合およびGrade4のインフュージョンリアクションが出現した場合は、ダラキューロの投与を中止する。
・カルフィルゾミブは年齢や毒性に応じて減量を考慮する。
・75歳を超える、過小体重(BMI:18.5kg/m2未満)、コントロール不良の糖尿病又はステロイド療法に対する忍容性がない、もしくは有害事象を発現した患者には、レナデックスを以下のように減量する:Day1, 22に20mgを、Day8, 15に12mgを、Day9, 16に8mgを内服する。

減量規定

薬品名	カイプロリス				
標準投与量	56 mg/㎡				
1段階減量	45 mg/㎡				
2段階減量	36 mg/㎡				
3段階減量	27 mg/㎡				
4段階減量	投与中止				